

第4章 連携と推進

まちづくりの目標を実現するための連携の進め方を示します。

第1 まちづくりの組織とネットワーク

(1) 背景・課題認識

- ・ 住民やコミュニティ組織、NPO、企業、大学など多様な主体によるまちづくりへの参加意識の高まりを積極的に生かしていくことが求められています。

(2) 考え方

- ・ まちづくりの推進にあたって、多様な主体間での連携・協働を進めます。

(3) 主な取組

- ・ 多様な主体がまちづくりに参加できるように支援します。
- ・ 優良なまちづくりの担い手が育つように支援します。
- ・ エリアマネジメント活動やリノベーションまちづくりなど、地域価値を高めるまちづくりを支援します。

第2 県と市町村の連携

(1) 背景・課題認識

- ・ 人々の生活や経済活動が市町村域を越えて広域化しており、広域的な視点から土地利用のあり方を明確にすることが必要です。
- ・ 地域の魅力やポテンシャルを生かして、個性と活力のあるまちづくりを進めることが必要です。

(2) 考え方

- ・ まちづくりの課題に対し、県と市町村が緊密に連携し適切に対応します。

(3) 主な取組

<県>

- ・ 広域的な視点からまちづくりの方向性を示します。
- ・ 市町村が取り組むまちづくりを支援します。

<市町村>

- ・ 地域の個性を生かしたまちづくりを主体的に進めます。
- ・ 住民やNPOなどとの協働によるきめ細やかなまちづくりを進めます。

第3 県民感覚のまちづくり

(1) 背景・課題認識

- ・ 都市計画の目的、内容、スケジュールなどが県民に分かりにくい面があることから、透明性の確保や情報提供の充実が必要です。
- ・ まちづくりに対する県民ニーズが多様化し、課題も複雑化しています。

(2) 考え方

- ・ 多様化する県民ニーズに対応したまちづくりを分かりやすく進めます。

(3) 主な取組

- ・ 都市計画を分かりやすく情報発信し、県民のまちづくりへの参画意識を醸成します。
- ・ 社会実験などを通じて、新たな政策課題に的確に対応します。